

おち町

議会だより OCHI TOWN

No. 112

2015 (H27) 5/1
高知県越知町議会

笑顔いっぱい

小学校入学式4/7 (3面参照)

3月定例会

2P 平成27年度一般会計37億4038万円

14P 子育て支援、高齢者対策などを7人が問う（一般質問）

24P 地方創生に政策提言

議会に特別委員会設置



一般会計

37億4038万円

野老山簡易水道事業に1億2284万円

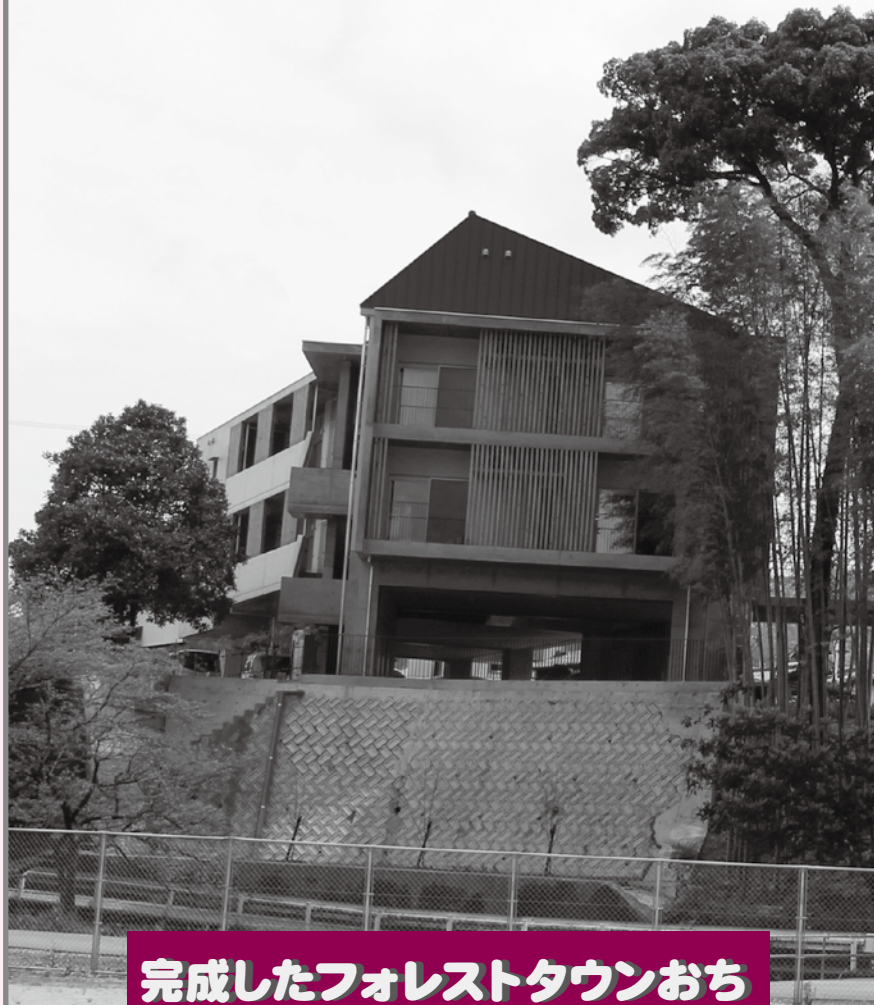
3月定例会は12日から17日までの会期で開き、平成27年度各会計予算、平成26年度各会計補正予算、機構改革による課設置条例の一部を改正する条例【9面に関連記事】、ふるさと応援基金条例の制定【10面に関連記事】など40件を全会一致で可決し、人事案件2件を同意しました。議員提案の「最低賃金の大幅引き上げ」「全国一律の最低賃金制度」を求める意見書など6件【11面を参照】を全会一致で可決しました。

また、岡林学議員が提案した地方創生調査特別委員会設置を全会一致で可決しました。今後、選任された委員5人で地方創生について調査・研究を行い意見や政策を取りまとめる。【24面に関連記事】

一般質問【14面から】は7人が登壇し、執行部の考えをいただきました。

- 2 3月定例会 27年度一般会計
37億4038万円
- 4 ことしの事業ピックアップ
水道事業 野老山・大元・袖野地区
- 7 どう使う今年の予算（議案質疑）
中学生国際交流英語圏で検討
- 9 こんなことが決まったぜよ
危機管理課を設置
- 12 平成26年度補正予算
プレミアム商品券を発行
- 13 町村議会広報全国コンクール
10年連続入賞 優良賞を獲得!
- 14 一般質問7人が問う
子育て支援、高齢者対策など
- 21 追跡! あれはどうなっちゅうが?
赤バイ
- 22 委員会レポート
生活道路や施設の調査
- 24 **地方創生に生かせ
政策提言書を提出**
- 26 地域住民と膝を交える
地区別懇談会
- 28 議会ですこんにちは
連載: 移住者訪問③

地方創生



完成したフォレストタウンおち

平成27年度予算

| 会計名 | 予算額 | 前年度比 |
|----------|-----------------|-------------------|
| 一般会計 | 37億4038万円 | △4億6154万円 |
| 特別会計 | 簡易水道 | 1億7125万円 2226万円 |
| | 下水道 | 1億7783万円 1521万円 |
| | 国民健康保険 | 9億3568万円 9766万円 |
| | 介護保険 | 10億6444万円 △2079万円 |
| | 後期高齢者医療 | 1億626万円 △529万円 |
| | 土地取得 | 0万円 △1万円 |
| | 蚕糸資料館 | 21万円 1万円 |
| | 自然の森博物館 | 2391万円 △500万円 |
| 企業会計(水道) | 1億1779万円 2381万円 | |
| 合計 | 63億3775万円 | △3億3368万円 |

賛否は全ての会計で賛成全員

4月7日に小学校の入学式が行われました。新入生は35人で、校長先生から「入学おめでとう」とあいさつがありました。



今日の表紙

ピックアップ

平成27年度予算の中から、今年注目する事業を取り上げました。
一般会計予算は、昨年度と比べ、およそ4億6000万円の減額です。

水道整備 野老山地区 **1億2284万円**
大元地区 **2052万円**、袖野地区 **1767万円**で整備

野老山水道整備



最上部となる第2配水池予定地
(八ヶ窪)



滅菌設備・中継ポンプが設置される
第1配水池予定地(中村)



仁淀川近くの水源予定地(船戸)

野老山地区

集落または個人で確保しているが、少子高齢化により維持管理が心配されていた。
簡易水道施設の設定により、町が管理することになる。
対象は、上ノ峠、加枝ヶ谷を除く地区で、29年3月末に工事完了の予定である。

大元地区

集落で管理している取水地までの狭小で危険な管理道を整備し、ろ過池等の設置をすることにより、安全で安定した生活用水の供給を図る。
受益戸数は4戸で、28年3月末に完成予定。

袖野地区

現在敷設している配水管の老朽化と個人の畑の中を通過している箇所があり、その区間を道路に敷設替えし、耐震に優れた配水管として安全で安定した生活用水の供給をする。
受益戸数は16戸で、28年3月末に完成予定。

ことしの事業



町内で7カ所目となるのぞみ公園上部の原野

ヘリポートで安心・安全

清水900万円で整備

災害時の集落孤立解消や傷病者の空路による安心・安全な緊急搬送を実現させる。航空隊との事前協議は済んでおり、用地の切り盛り造成、ヘリポート面のアスファルト舗装、進入路の拡幅等を行う。

地域おこし協力隊8人に

新たに5人雇用 1720万円

地域おこし協力隊による、本町の農産品の活用や観光振興、集落維持などのため、新たに5人雇用し、合計8人となる。新たな視点による経済や地域の活性化が期待される。【7面に関連記事】



ラフティングで活躍する隊員

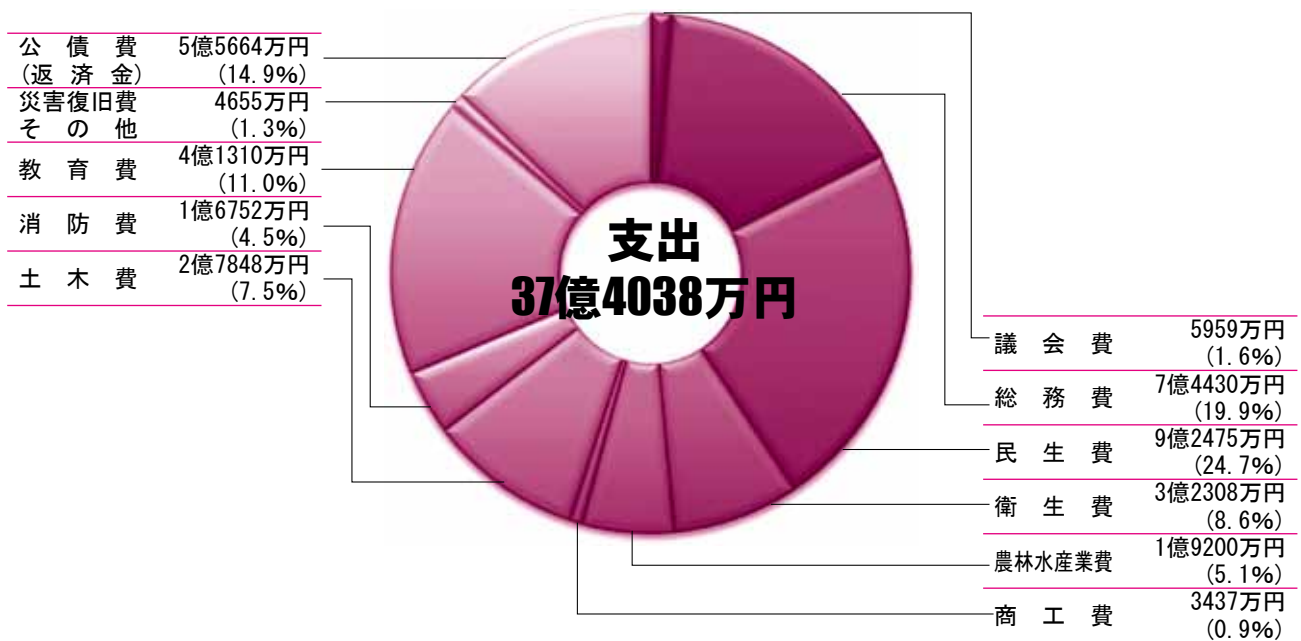
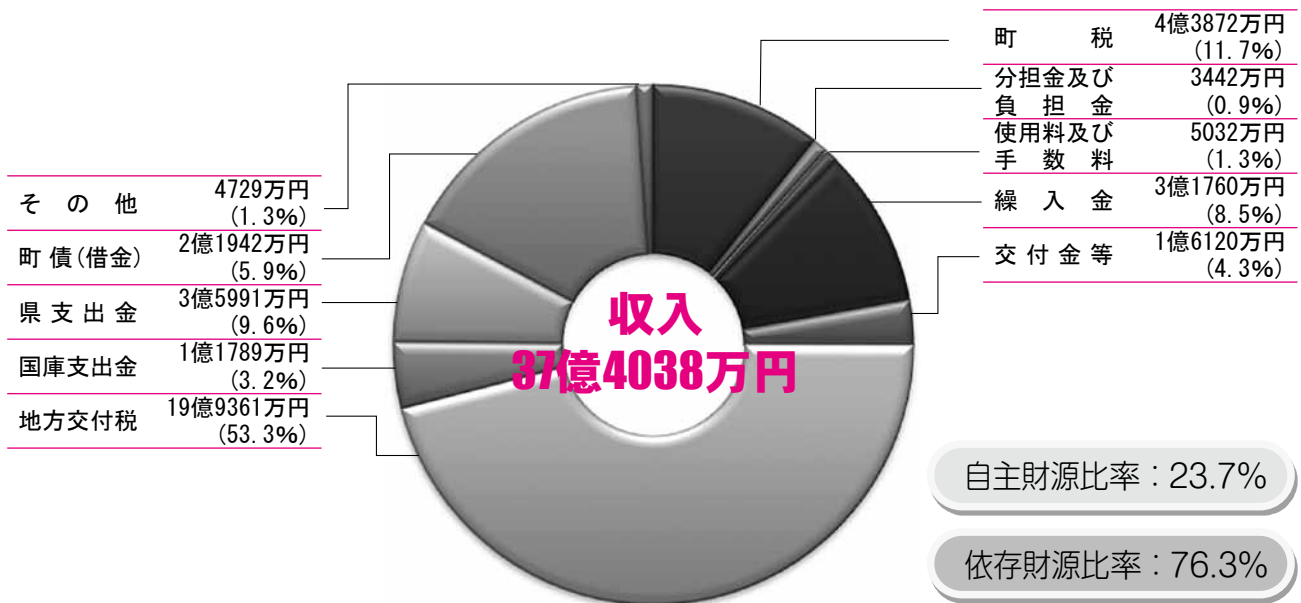
家屋全棟調査

調査費に1835万円

固定資産税（家屋）の評価作図において、新増築・取り壊しについて十分な対応ができない恐れがあった。

総務省から「納税者の信頼確保について」指導があった。近年測量技術等（航空写真）の発達に伴いこれらに対応できる支援システムが開発されたことにより、より精度の高い評価に努め、公平な課税が可能となる。

収入と支出を分析



| | |
|--------|--|
| 町 税 | 町民が納める税金（町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税） |
| 繰入金 | 町の貯金を下ろして使うお金 |
| 交付金等 | 消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金 |
| 地方交付税 | 自治体運営の均衡を保つため、国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から配分されるお金 |
| 国・県支出金 | 決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金 |
| 町 債 | 町が事業を行うため、費用の財源不足を補うために借り入れるお金 |
| 公 債 費 | 町が借り入れたお金（町債）の返済金 |
| 自主財源 | 町が自前で賅うことができるお金 |
| 依存財源 | 地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金 |

中学生の国際交流 英語圏で検討

高橋議員 中学校の国際交流事業は、昨年中止となったが、今年の子行き先はどこか。

高橋教育次長 本年度も6月ぐらいをめどに、状況を見極め、韓国を予定している。

山橋議員 2年連続中止となったが、中学生の夢を壊してはいけない。行き先をオーストラリアなどに調べてみてはどうか。

山中教育長 今、グローバル化に対応する教育が求められている。英語力に力を入れるためにも、検討中である。



25年度から韓国との国際交流事業は行われていない

地域おこし協力隊



小日浦の遊歩道整備にも活躍する隊員

高橋議員 地域おこし協力隊7人の内容と林業振興の1人が165万円で、金額的に低いように思うが説明を。

能技術を身につけ、山の情報発信をしてみよう。6月からの採用で、10カ月分を計上している。

武智議員 あとの3人はどんな計画か。

中内企画課長 今の隊員3人プラス4人で7人。移住促進に1人、特産品開発に1人、観光振興に2人の予定。

前田産業建設課長 林業振興費の1人の内容は、作業班でやりながら、技

自主防災組織

岡林議員 26年度は、27年度に新たに組織ができるような話が進んでいるか。

片岡総務課長 小舟・11区・13区・今成で協議中である。



南片岡での防災訓練

有害鳥獣被害対策

寺村議員 鳥獣被害対策実施隊というのは、どんなものか。

寺村議員 有害鳥獣被害対策事業補助金491万円の中に、カラスも対象に入っているのか。

前田産業建設課長 有害

前田産業建設課長 27年

鳥獣被害防止計画を作り、被害が発生した場合、町長が任命した実施隊が出勤して捕獲をしよう。

度からハクビシン、タヌキ、カラスの3種類を対象に追加した。

隊員は、猟友会のメンバーになる。



くわりの設置状況を見る隊員(佐々国)

笑いで元気なまちづくり



入場者を大いに笑わせてくれた(町民会館大ホール)

西川議員 小学校でやっている笑いで元気なまちづくり「おち1グランプリ」は好評だが、中学校からの要望はないか。

高橋教育次長 小学校は、授業の一環としてやっている。中学校からは、今のところない。

五味地区残土処理場 測量委託に450万円

小田議員 五味の残土
場計画は、完成後の利用
方法を考えているか。

前田産業建設課長 地区の要望を聞いている。元に戻して畑に使いたい人もいるし、町に買っても
最終的にどうするかは、
まだ決めていない。



耕作放棄地となっている予定地

産業課・建設課・危機管理課を設置

産業建設課を分離、危機管理室を課に昇格

こんなことが決まったぜよ



危機管理課が消防防災関係を受け持つ（4月16日の分団長会）

課設置

機構改革により、産業建設課を分離し、総務課内の危機管理室を危機管理課とした。（4月1日施行）

《賛成・全員》

山橋 産業課と建設課は
何人か。商工業はどこが
担うか。

副町長 産業課が6人と
県と人事交流で県職が1
人の予定、農業委員会に
専任職員を1人置く。建
設課は9人。

町長 商工業は、企画課
になるが、産業課と企画
課が隣となり、連携もで
きうまく機能すると思う。

山橋 企画課は観光関係
で非常に忙しい状態だが、
人員は何人か。

副町長 1人減となって
いたが、補充をして6人
とした。

職員定数

産業建設課の分離、危
機管理課の設置と学校給
食共同調理場の設置によ
り専任職員が必要となっ
た。（4月1日施行）

町長の事務部局
68人↓69人
教育委員会の事務部局
7人↓8人

《賛成・全員》

消防団員の費用弁償

消防団員の出勤、警戒、
訓練等の職務に従事する
場合の費用弁償を一部改
正する。（4月1日施行）
1回につき、5500円
←
1回につき、6000円

《賛成・全員》

介護保険

基準月額額は 据え置き

27年度から3年間の保
険料額が決まった。基準月
額は、6235円で据え置
いたが、所得段階が「6段
階」から「9段階」に変更と
なる。（4月1日施行）

《賛成・全員》

山橋 所得の高い人は、
最高額が11万2230円
から12万2720円に上
がるのか。

住民課長 国の基準に合
わせ、実質的に上がるよ
うになる。

農地災害復旧事業の 分担金

農地災害の復旧推進
耕地の保全や農業所得の
確保のために、受益者負
担の軽減を図る。（4月1
日施行）

《賛成・全員》

公民館設置及び管理等

本年3月31日に、片岡
小学校、黒石小学校及び
明治中学校が閉校となる。
今後、明治中学校と片
岡小学校は、公民館とし
て利用され、地域の拠点
施設となる。（4月1日
施行）

《賛成・全員》



3月22日、明治中学校で3校の
合同閉校式が行われた

非常勤の職員等の報酬及び費用弁償

幼稚園長は、27年度から非常勤職員として報酬を支給する。

いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会及び学校運営協議会の委員を追加し、個人に委託している産業医は、非常勤職員として報酬を支給する。(4月1日施行)
 《賛成・全員》

| | | | |
|--------------|----|----|----------|
| 幼稚園長 | | 月額 | 150,000円 |
| いじめ問題対策連絡協議会 | 委員 | 日額 | 5,200円 |
| いじめ問題調査委員会 | 委員 | 日額 | 9,000円 |
| 学校運営協議会 | 会長 | 日額 | 5,700円 |
| | 委員 | 日額 | 5,200円 |
| 産業医 | | 月額 | 20,000円 |

幼稚園授業料

子ども・子育て支援制度の制定に伴い、低所得世帯に対し減免・減額の幅を広げる。(4月1日施行)

《賛成・全員》



幼稚園は園庭も広く子どもたちは元気に走り回る

| 階層区分 | | 授業料の額 (園児1人につき月額) |
|------------------------------|---------------------|----------------------|
| 地方税法第295号第1項各号に該当する世帯(生活保護等) | | 0円 |
| 町民税非課税世帯 (所得割非課税世帯含む) | 母子世帯及び在宅障害児(者)のいる世帯 | 0円 |
| | 上記以外の世帯 | 2,000円 |
| 町民税所得割課税額が211,200円以下の世帯 | | 5,500円 |
| 町民税所得割課税額が211,201円以上の世帯 | | 6,500円 |

条例の制定

ふるさと応援基金



広島市内の路面電車でもふるさと納税をPR

越知町を応援したいとの思いから贈られたふるさと寄附金を有効に活用する。(3月19日施行)

《賛成・全員》

学校給食共同調理場

本年9月に稼働予定の学校給食共同調理場の設置及び管理について、必要事項を定める。(4月1日施行)

《賛成・全員》

意見書

3月定例会に提出された6件全てを可決し、関係機関に提出しました。

「公契約条例の制定」を求める

提出者 西川晃 議員

経済対策の柱として大型公共工事の推進を掲げ、大型の予算が付けられている。

「最低賃金の大幅引き上げ」「全国一律最低賃金」を求める

提出者 武智龍 議員

最低賃金を大幅に引き上げるための施策を早急に講じること。

地域間格差を是正するため、全国一律の最低賃金制度を制定すること。

提出先 衆参両院議長、厚生労働大臣他

設計労務単価は引き上げられているが、建設関連特有の重複下請け構造と過度の低価格入札により、末端で働く労働者の賃金は従来とほぼ変わっていない。

地域の企業も体力をうばわれ労働者の賃金を上げる余裕がない。

国と県は、労働者の適正な賃金確保と地域企業の活性化と後継者育成の観点から、公契約条例の制定に向けた施策を講じることが強く求める。

提出先 内閣総理大臣、高知県知事他



柴尾では4月上旬に田植えが始まる

政府による米価対策を求める 慎重な農業改革を求める

提出者 片岡清則 議員

政府は過剰米の市場隔離を実施し、受給と価格の安定に責任をもつ米政策を確立すること。

米直接支払交付金の半額措置と米価変動補てん交付金の廃止を撤回し、農家の経営安定を図ることを強く求める。

提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

慎重な農業改革を求める

提出者 寺村晃幸 議員

一般企業の農地取得に道を開く農地法改定や農業委員会の公選制などの廃止をやめること。

農協のあり方は、農協自身の改革を尊重し、法的な措置による強制はやめることを求める。

提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

TPP交渉

提出者 寺村晃幸 議員

政府は、TPP交渉に関する国会決議を順守するとともに、守れない場合は、交渉から撤退すること。

提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

郵政三事業

提出者 山橋正男 議員

郵政と金融のユニバーサル・サービスを提供する義務を全うできる株式処分のあり方が検討されなければならない。

情報公開、説明責任を果たし外資規制を講じると共に株式処分は、凍結あるいは制限をすること。

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、衆参両院議長

人事

教育委員の任命

酒井清志氏(越知甲)



任期は、平成30年3月31日まで。

《同意・全員》

古味由希氏(越知甲)



任期は、平成31年3月31日まで。

《同意・全員》

こんなことが決まったぜよ

正算
補予

地域住民生活等緊急支援交付金

地域消費喚起・生活支援型に1605万円
地方創生先行型に3371万円

地方における消費喚起策やこれに直接効果のある生活支援と地方版総合戦略の早期かつ有効な策定、これに関する優良施策等に対し国が支援するもので、総額は、4976万円となりました。

| 番号 | タイプ | 事業名 | 金額 |
|----|------------|------------------------|---------|
| 1 | 消費喚起・生活支援型 | プレミアム商品券発行事業 | 1,131万円 |
| 2 | 消費喚起・生活支援型 | プレミアム旅行券発行事業 | 135万円 |
| 3 | 消費喚起・生活支援型 | 子育て応援商品券支給事業 | 339万円 |
| 4 | 地方創生先行型 | 子育て世帯支援事業 | 490万円 |
| 5 | 地方創生先行型 | 特産品生産者支援事業 | 30万円 |
| 6 | 地方創生先行型 | 災害時でも安心して育児ができるまちづくり事業 | 173万円 |
| 7 | 地方創生先行型 | 人口ビジョン及び地方版総合戦略策定事業 | 537万円 |
| 8 | 地方創生先行型 | 移住・定住促進事業 | 1,492万円 |
| 9 | 地方創生先行型 | PR映像制作放送事業 | 574万円 |
| 10 | 地方創生先行型 | ふるさと就農給付金給付事業 | 75万円 |

プレミアム商品券

町全域・全業種の加盟店で、共通して使用できる商品券を発行し、地元消費拡大をめざす。実施主体は、商工会。

内容 5000円（1セット12枚）の購入金額で、6000円の買い物ができる。

販売対象者は、住所・年齢を問わず1人4セットまで。

プレミアム旅行券

仁淀川を活かしたカヌー・ラフティングツアー及び農産物や宿泊施設をオプシオン設定する限定旅行商品。実施主体は、観光協会。

内容 カヌー・ラフティングツアー体験料金の30%を割り引きする。（ただし、先着700人まで。8月中旬、お盆の最盛時期は対象外）ツアーの体

験者がオプシオンとして、町内宿泊施設を利用する場合など。

PR映像制作放送

ゆるキャラ（着ぐるみ）を制作し、さまざまなイベントに登場して町をPRする。

また、本町の魅力を紹介するテレビCMを制作し放送する。

災害時でも安心して育児ができる

保育園・幼稚園児など乳幼児を抱える父母を対象に、防災学習会や意見交換会を設け、「災害時に何が必要か、公助として何を求めるか。」などの意見を聞き取り、これからの防災対策の充実・強化につなげる。

子育て応援商品券

0歳から高校生の子ども一人当たり6000円が町内で消費できる「子育て商品券」を支給する。

内容 子育て応援に限る。大人の嗜好品に利用しないこと。



商品券で商店街を盛り上げたい

優良賞 10年連続入賞

総合10位を獲得

第29回町村議会広報全国コンクール

優良賞の表彰状と記念品



表彰を受ける斎藤議長



受賞した議会だより108号

全国入賞議会 (応募総数234紙)

| | | | |
|------|-----------------|-----|-----------|
| 最優秀賞 | 山形県川西町議会 | 奨励賞 | 北海道栗山町議会 |
| 優秀賞 | 鳥取県大山町議会 | // | 長野県飯綱町議会 |
| // | 宮城県川崎町議会 | // | 京都府精華町議会 |
| // | 岩手県金ケ崎町議会 | // | 群馬県玉村町議会 |
| 優良賞 | 山形県庄内町議会 | // | 島根県飯南町議会 |
| // | 宮城県利府町議会 | // | 高知県中土佐町議会 |
| // | 埼玉県寄居町議会 | // | 長崎県長与町議会 |
| // | 宮城県大和町議会 | // | 福島県富岡町議会 |
| // | 北海道仁木町議会 | // | 岡山県美咲町議会 |
| // | 高知県越知町議会 | // | 福岡県須恵町議会 |

表紙フォトグランプリ賞 岩手県雫石町議会

第29回町村議会広報全国コンクールで、おち町議会だより108号(平成26年5月1日発行)が「優良賞」を獲得し、平成17年度から10年連続入賞となりました。

10年連続は、全国で2町だけです。

これからも、より一層、町民の皆様にご覧いただき、分かりやすく読みやすい「議会だより」の作成に努めます。

ズバリ!! 町政を問う 7人登壇

14ページ・寺村晃幸

- ① 道路行政
- ② 環境行政

15ページ・小田範博

- ① 高齢者対策
- ② 柳瀬川河川改修工事
- ③ 農業の振興

16ページ・武智 龍

- ① 地方創生
- ② 町単独補助制度
- ③ 地域おこし協力隊募集

17ページ・市原静子

- ① 子育て支援
- ② 高齢者対策
- ③ 人口減対策

18ページ・高橋文一

- ① 町道下渡線
- ② フォレストタウンおちの利用道路
- ③ 町独自のハローワーク

19ページ・岡林 学

- ① 保、幼、学校での訓練
- ② 地域公共交通会議
- ③ 地域ハイヤーチケット

20ページ・片岡清則

- ① 仁淀川の埋め立て
- ② 久万目谷の問題点
- ③ 女川の農道改良



寺村晃幸 議員

道路行政

今後の林道網の計画は 補助事業の採択を目指している

副町長

問 林道白石横倉線はまもなく完成する。伐期を迎える木材搬出のため林道網の整備は重要と考えるが、今後の林道開設予定は。

副町長 現時点では、下ノ谷付近から佐之國を経由して小日浦、南ノ川に至る路線を検討している。

なお補助事業の採択を目指しており、27年度中に5カ年分の地域再生計画を提出し、28年度中に認可を得て、最遅で29年度中に事業着手の予定である。

下ノ谷の橋拡幅は

問 下ノ谷から対岸へ渡る古い橋の拡幅は、約300メートル上流の地点に計画変更となるのとのことだったが、その後どうなっているか。

計画を練り直す

副町長 地域の要望もあり、幅員4メートル程度の橋に計画を練り直しているところだ。

環境行政

日当たりが悪いが対策は

情報収集に努めたい

町長

問 8区町営住宅西側の横倉寺付近は、近年めっきり日当たりが悪くなつたという声を聞く。原因は、地形や背後地の山林、竹林等が影響していると思われる。

行政として山林の伐採を含め地権者と交渉できないか。

副町長 地権者や住民の方とも話し合い、これまでの経過も聞き、どのようなことができるか情報収集に努めたい。



立木伐採で日照不足が解消できないか



小田 範博 議員

高齢者対策

見回り訪問を定期的に

貴重な意見として今後検討 町長

問 高齢者の見守りは、十分でない。定期的に見回りを兼ねた中身の濃いサービスはできないか。

小田町長 不十分であると思っている。考えてもいなかったもので、貴重な意見として今後検討する。

西川住民課長 どのような仕組みが良いのか考える。

ごみステーションが遠い

問 高齢者や身体の不自由な人がごみをステーションまで持ち出すのに、大変苦労されている。援助が必要な人もいると思うが、何か対策を考えているのか。

対策を考える

小田町長 ステーションが遠くにある所では、隣の人にお願ひしたり、ヘルパーが持ち帰るなどし

ているが十分でない。現状を把握して対応を考える。

柳瀬川河川改修工事

現在の計画の状況は

地元説明会を予定 町長

問 柳瀬川河川改修計画の現状は。

小田町長 県によると用地調査は済んでおり、26年度中に概略測量が完了する。27年度に地元説明会を予定している。

前田産業建設課長 地元の理解を得て事業を進めていかなければならないが、着手時期については未定である。

問 この工事で大量の残土が発生する。土を利用した圃場整備をすれば利

小田町長 地元負担の問題もあるが、残土を現場内で処理できる方法がベストだと思っている。

前田産業建設課長 関係者の同意が絶対条件で、河川流域住民の理解も必要である。

便性の高い農地となり新しい担い手もできる。進める考えはないか。



河川改修が待たれる柳瀬川(柴尾)

農業の振興

集落営農組織の促進を必要であり推進する

産業建設課長

問 農業は本町基幹産業の一つだ。継続には集落営農組織を促進する必要がある。町長の考えは。

小田町長 農業活性化のために必要である。

前田産業建設課長 本町の現状を考えると大変必要な仕組みであり推進する。

地方創生

どのように受け止めているか

本部を立ち上げ協議 町長



武智龍 議員

問 地方創生戦略は、基本になる考え方が大事だ。どのように受けとめているか。

小田町長 揺るぎない考えが大事であり、政策ごとに達成すべき目標設定とPDCAサイクルを重視し、役場内に創生本部を立ち上げて協議する。

問 この戦略は地方を活性化させる最後のチャンスで、これを逃したら次はないと思うが。

小田町長 最後かどうかは言い切れないが、千載一遇のチャンスと思う。

問 知事は、産業振興、中山間対策など市町村も県の方向に合わせてほしいと言っているが。

小田町長 当然、県と方向性を合わせてやっていきたい。

越知町版総合戦略
問 越知町版総合戦略は、何に重点を置いて取り組むのか。

小田町長 人口減対策が最も重要だ。農林業、観光、地元企業や起業家の育成支援、結婚、出産、子育て、空き家・空き店舗の活用、集落活動センターなどを考えている。

町単独補助制度

補助制度を作ったか

受益者負担を軽減

産業建設課長

問 今回で3回目の質問になるが、国や県の補助制度の対象とならない災害復旧に町単独の補助制度は作ったか。

前田産業建設課長 27年度からがけくずれ住家防災対策事業は、災害復旧の場合50%だった補助率を70%に、予防措置の場合は65%に引き上げる。

農地災害は、これまで補助対象事業費の50%が受益者負担だったが、その25%を町単独で補助することにし、補助対象外の部分に対しても50%を補助することにしたので、受益者の負担額はかなり軽減される。また、受益者が自力で復旧する場合は、原材料を支給する。

問 制度がかなり改善されて良くなった。受益者が断念したり国などの補助対象にならない工事も、負担額軽減のため、人件費などを含めた工事費全体に対して補助する制度はできないか。

前田産業建設課長 原材料支給でもかなりの軽減になると考えているが、なお今後の課題として検討したい。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊は、基幹産業を守るために活用するのが良いと思うが、27年度の雇用人数と目的は、

5人雇用

中内企画課長 今回は、新たな視点で地域資源を掘り起こし、地域力の維持、強化を図るため、農産品等を活用した生業の継承や創造と移住促進に1人ずつ、観光振興に2人雇用する。

前田産業建設課長 作業道などの開設、維持修繕等の業務に携わりながら、農山村の生活や自然環境などの魅力を発掘し、集落の維持や活性化などを目的に1人雇用する。



「自分で直せる人は少ないので制度があれば助かるが」と語る武智幸蔵さん



市原静子 議員

子育て支援

年齢制限をやめ保育料を無料に 兄弟が18歳未満は第3子以降無料

教育長



園庭で元気に遊ぶ保育園児

問 保育料は、上2人が小学生以上の場合、3人目が3歳児になると全額負担となる。
無料にできないか。

山中教育長 27年度から同時入所の場合は、第2子以降を無料にし、18歳未満の子どもが3人の場合も第3子以降は、無料と決定した。

高齢者対策

介護予防に工夫を

多様な選択肢を用意 住民課長

問 介護保険を守り支えていくには、元気に暮らすことが喜びとなるような工夫が必要である。
本町の考えを聞く。

西川住民課長 高齢者が個人に応じた多様な選択肢を用意することが重要だ。
デイサービスセンター
コスモス荘、ミニデイ
サービス、介護予防体操、
健康相談など地域の中で
集まることができる場を
提供していきたい。

元気な人の評価を
問 介護保険を全く利用しなかった健康で元気な人には、品物を贈るなどの評価をしてあげれば一層の励みになると思うが、検討する

小田町長 大事なことを思うので、今後検討する。

介護者の休暇休息

問 介護うつ、老老介護の悩みを抱える人のため、家族の介護者の休暇休息が必要である。
本町での取り組みは。

包括支援センター等が対応

西川住民課長 26年度要
介護者台帳では、2000世帯の老老介護者がいる。
介護認定を受けず誰にも相談できずに悩みを抱えている家族への支援が課題となっている。
うつ状態かどうかの判断は、包括支援センターや保健師が個別に対応している。
介護認定者は、各種のサービスを利用できるので家族の負担軽減が図られる。

人口減対策

役場にミニハローワークを検討していきたい 企画課長

問 定住者の悩みが多いのは「就職先が無い」とである。
役場の中に本町または近隣町村でのミニハローワーク的なお手伝いができないか。

中内企画課長 27年度の移住定住の取り組みとして、介護、土木、病院関係など、多数の企業に協力を求め、求人情報を提供したいと思っている。
「ミニハローワーク」は厚生労働大臣の許可が必要であり検討していきたい。

町道下渡線

待避所の設置と蓋掛けを

待避所・拡幅を検討



高橋 文一 議員

産業建設課長

問 町道下渡線は、見通しが悪い上に狭く不便だ。大型住宅も完成しさらに混雑が予想されるが、解消のために待避所を設けてはどうか。

また、中学校補助グラウンド北側も狭く、側溝との段差があり歩行者にも危険だ。グラウンドの排水問題があるようだが構造の工夫をして蓋掛けができないか。

前田産業建設課長 災害時には、通行規制により下渡線を利用することも考えられ、待避所の設置を検討したい。

中学校補助グラウンド北側は大型車の通行も多く、フォレストタウン入居者のメイン通りとなり、さらに交通量も増えるので安全対策のため拡幅を検討している。



大型車の通行も多い中学校補助グラウンド北側



待避所設置が望まれる町道下渡線(2区)

フォレストタウンおちの利用道路 主要ルートは

越知今成線を利用 企画課長

問 フォレストタウンおちの利用道路は3方向あるが主要ルートは、入居者には明記しているのか、それとも口頭なのか。

また、通学コースの登下校時間帯への配慮は。

中内企画課長 主要道路は西出口から下渡線を左折し、越知今成線を経由して、国道33号に至るルートで徹底したい。入居予定者には、地図に主要ルートを入れ配布している。スクールゾーンは、認識しており通学時間帯の回避をお願いする。

進入路は

問 フォレストタウンおちへの進入路は、下渡線からの仮設道を正規の道路にするのか。

また、住宅入居者に影響なく施工できるのか。

秋口に着工

前田産業建設課長 県との協議を必要とするため、工事の着手時期は秋口になる。入居者の出入りには影響が出ないよう工法の検討をする。



現在も仮橋を利用している

町独自の ハローワーク

問 本町独自のハローワークを、やってみては。

中内企画課長 ハローワークとなると大臣許可がいる。どこまで法的に許されるか勉強してみる。

保、幼、学校での訓練

災害時の対応は

合同避難訓練を実施

教育長

問 保、幼、学校での火災、地震、不審者に対してどのような訓練をしているか。

園は年5回行っている。4月には保、幼、小中が合同で、町民会館までの避難訓練をしている。

不審者は、保育園では、誘拐防止教室や防犯訓練を佐川署の協力で行っている。

幼稚園は、門扉やフェンス等で侵入しにくい対策をしている。

また、園舎内では、連絡がとれる通報装置を設置しているが、園外への通報も検討している。



岡林学 議員

山中教育長 火災は、保、幼では、年6回の避難訓練を行い、うち2回消防署の指導を受けている。小学校は年1回行っている。

地震は、保育園では年11回。保護者への引き渡し訓練もしている。幼稚



保幼小中の合同避難訓練

地域公共交通会議

会議のメンバーは

国・県・事業者・町関係者で19人

総務課長

問 実用に即した輸送サービスを協議する「越知町地域公共交通会議」が行われたが、会議のメンバーは。

片岡総務課長

会議は、

1月に設置し、2月に1回目の会を行った。

メンバーは、国や県の関係機関、警察、黒岩観光、町からは、学識経験者、副町長、岡林ハイヤー、関係地区の区長代表、商工会、観光協会の会長、議員2人の計19人である。

地域ハイヤー チケット事業

利用者数は

問 26年度は、720

万円の予算で、1人24枚のチケットを出しているが、何人に渡したか。

また、どれだけの利用があったのか。

615人

西川住民課長

3月10日

の時点で、615人に1万4004枚渡した。

使用枚数は、7963枚である。

問 まだ6000枚余り利用されていない。その原因を把握しているか。

西川住民課長

広報やチラシで啓発したが、十分に趣旨が行き届かなかったこと、使用期間が短かったこと、利用するきっかけがなかったことなどが原因だと思う。

半分にした理由は

問 27年度は、チケット枚数を半分にする予算案が出ているが、使われなかったから減らすのか。

実績を見て

小田町長

この事業の効果は十分わかっていない。26年度の使用数を考え、当初で1人12枚を予算化した。一年間通してというわけではない。

川の流れが変わり災害が心配

土木事務所から説明をしてもらおう 町長



片岡清則 議員

問 3月13日に町長から、三秀の対岸の遊水地帯に太陽光発電の計画があると説明があった。

構造物ができることによつて川の流れが変わり周辺に被害が起きるのではないかと心配される。経緯を説明願いたい。

小田町長 東京の会社役員から設置するようになったという話があり、まずは議員の皆様にお知らせした。

前田産業建設課長 ご指摘の箇所は県が管理しており、11月7日に、土木事務所にお問い合わせ。境界確認の結果、民地であると確認したという報告を受けた。民地の部分は、法的制限がかけられないということだ。

問 個人の土地だから町がどうこう言うことはできないのか。

小田町長 県の考えを直接聞いていないが、議員の皆様方と情報を共有しておく方がいいので、早い時期に土木事務所から説明してもらおう。

問 相当大きい施設ができる模様だが、川にガラ

ス破片が散乱したり構造物が壊れ、被害が出たときは誰が責任を取るのか。

小田町長 議員が心配されることは十分理解できるが、設置者は民間であり答弁できない。今後、県と協議する。



太陽光発電の計画がある中仁淀橋(沈下橋)上流

問 4月に稼働するようだが、町民が納得のいくよう話をつける必要がありはしないか。

小田町長 民地に民間の業者が搬入することに対してストツプするとなると、法的な効力など調べてみないといけない。町民の財産に与える影響や災害時の対応は今後大きな課題であるので、行政として対応すべきと考えている。

久万目谷の問題点

石のせきの取り除きを

問 昨年の台風で久万目谷川の水が越流して田んぼが大変な被害を受けた。県が河床に施した石のせきを取り除いてもらいたい。

県にお願いする

前田産業建設課長

人為的に石が置かれていたり見られる部分は数箇所あり、県に確認した。下流の蛇かご以外は県が施工した記録はないとのことだ。堆積している土砂は、土木事務所に取り除きをお願いする。

女川の農道改良

問 女川の細川石材から終点までの道の狭いところは改良できないか。

改良は可能

前田産業建設課長

細川石材のところから下りている農道谷川4号線は、地形的に拡幅できない。迂回路として、谷川1号線があり、周辺の用地の承諾がいただければ改良は可能と考えている

あれはどうなっちゅうが？

赤バイ

高橋議員（平成24年3月）消防団に赤バイがあれば、災害時などの活動範囲が広がると思うが、配備できないか。

町長 赤バイは消防団から要請もあり、消防協会に10台くらいを要請している。

総務課長 赤バイは、高知市、いの町、土佐市、須崎市が配備している。機動性はあるが、有効性と運転できる人を把握したい。

斎藤議員（平成26年3月）消防用オートバイは本体の値段と装備品はいくらか。また、山間部の道に入るときには125cc程度が扱いやすく危険が伴わないと思うが、どう考えるか。

総務課長 本体価格は50万円。あとは装備品代になる。

125ccは小回りが利いて扱いやすいと思うが、装備品で重くなったときに125ccは小さいので250ccが理想ということである。

処理状況

27年3月に購入

消防自動車が進入困難な現場でも機動性を発揮でき、初動活動等に活躍が期待される。

サイレン・赤色警光灯・消火器等を装備した緊急車両。

購入費は、190万円（県補助金が2分の1、残りは地方債）。



越知分団に配備された赤バイク1号

片岡清則氏を偲んで

町議会議員片岡清則氏が、3月定例会後の3月24日に逝去されました。

突然のことでありご本人はもとより、ご家族にとってもさぞかし無念の思いであったと拝察いたします。

片岡氏は、昭和61年8月に初当選され、連続8期29年の議員活動をはじめ、議会会長の重責を担われるなど町発展に骨身を惜しまず尽くされました。

片岡氏が残された数多くのご功績は、永遠に私たちの胸に生き続けることでしょう。

ここに、謹んでご冥福をお祈りしまして、お別れの言葉といたします。

平成27年5月

越知町議会

産業建設常任委員会（委員長・西川晃）5人は、2月6日に道路改良工事や林道開設工事、水道工事などを視察調査しました。

進む水道整備

柵ノ森地区 給水施設整備

取水量は少ないが非常時には、農業用水を兼用できる。

地元管理を十分注意されたい。



水管理が楽になる

報告書の中で、1戸や2戸でも補助制度が受けられるよう制度の見直しを行い、臨機応変に対応するように提案しました。

宮地下 水道施設整備

3カ所から山水を利用してはいたが、事業完成により給水安定性が格段に向上する。



急ピッチで工事が進む

生活道路の整備推進

下ノ谷堂林線 修繕系交付金工事

道路の両側は舗装止めとU型・三角側溝が設けられ、路肩が安定し舗装を長持ちさせる有効な手段となっている。山なりに構造物が施工されており、今後は通行や管理しやすいように工夫されたい。

林道白石横倉線 開設工事

切り取った山腹法面に水が湧いており透水マット等の水対策が必要と思われる。

町道柴尾宮地線 改良工事

仁淀川の増水時に年数回冠水していたが、この工事により遮断されること極めて少なくなり、避難など生活面で大きなメリットがある。

町道浅尾谷口線 仮設防護柵設置工事

今後も崩落の危険性は解消されない。柵ノ瀬から鎌井田大橋までの町道改良工事の早期着工を望む。



崩落したままの現場

林道小日浦線 仮設橋（車道）設置応 急工事

職員の努力により早急な対応ができた。



かさ上げして冠水の心配がなくなる

小中学校共に学力向上

総務教育常任委員会（委員長・片岡清則）5人は、2月20日に保育園・幼稚園・小学校・中学校の運営状況、小舟団地・町民総合運動場体育館・フォレストタウンおちの工事状況などを視察調査しました。

中学校

生徒指導問題はなく極めて健全。あいさつや地域貢献活動が活発に行われている。部活動にも励み、不登校の生徒はゼロである。

全国学力テストでは、全国平均を大きく超え、特に国語A問題の正答率は80%を超えて全国トップレベルにある。

学校としては異例の県内外から多くの視察者がある。学力・健全育成・部活動などが総合的に評価され「**坂本教育賞**」を受賞した。



県内外からの視察者も多い

ノートコンテストを実施



小学校

子どもの学力向上、教師の授業力向上を目指している。

その結果、全国学力テストでは、県平均、全国平均を超え昨年よりも高い結果となっている。

体力向上にも力を入れており、全国体力テストでは、男子女子共県平均、全国平均を大きく上回る成果を上げている。 教室には、エアコンが設置され、より快適に授業が受けられる。

幼稚園

園児数は49人で、うち21人は町外である。縄跳びなど遊びを深めていくことを重要視している。

鉛筆を持ち筆圧を付ける。椅子に座り集中して人の話を聞くなどの教育を行っている。

9月から給食も始まるが月2回程度弁当の日を作りやすい意向である。

保育園

待機児童はなく、子育て支援センター、一時預かり保育も利用者があり一定の成果を上げている。いじめや虐待問題もなく園の運営は順調である。

施設面では一階廊下と階段の滑り防止、天井の雨漏りの改善が望まれる。

門扉と郵便ポストの取り替えを



小舟団地

大規模な改修必要

4号棟外壁補修・屋上防水工事は終わったが、5号棟の屋根防水シートと、その他の棟の給水タンク・給排水管の改修が必要である。

集会所の改修と住民が気軽に集まれる庇と縁側のある施設の設置が望まれる。

町民体育館耐震補強・大規模改修工事

床の張り替えや照明器具のLED化により、明るく快適にスポーツができる環境が整えられた。**利用者を増やすことが課題である。**



滑り防止対策が急がれる

地方創生政策提言書を提出



議長から町長へ「政策提言書」を直接手渡した

本町の地方創生戦略に議会も積極的に関与すべく、26年11月に島根県飯南（いいなん）町と邑南（おおなん）町を視察調査しました。両町とも全国から注目される実績を上げており、本町でもできる限り早く取り入れていただくことと提言内容を取りまとめ、3月4日町長以下幹部職員に提言しました。

政策に生かせ

斎藤議長 同じ自治体でもこれだけ違いがあるのかと思ってしまうの衝撃を受け、視察後に「地方創生に関する政策提言書」としてまとめた。

以前、議会事務局から町に渡した視察報告書が行方不明になったことがあったので、今回は町長に直接お渡しする。

大きなプラスになる

小田町長 12月議会の一般質問でも提言をいただいているが、今回の提言書は本町にとって大きなプラス材料になると考えている。

中身をよく読ませていただき政策に生かしていきたい。

政策提言までの流れ

1回目
1月16日の全員協議会で、提言の柱になるものを抽出。

2回目
2月17日の全員協議会で特別委員会を設置して検討することを決定。

3回目
2月26日の地方創生調査特別委員会（仮称）で最終案検討。

4回目
3月4日の全員協議会で最終協議・決定。

提言書提出



こうやったらどうか10の提言

- ① 事業推進には全職員が横断的に取り組む意識と連携体制を整えることが重要だ。
町長が先頭に立って指導力を発揮すること。
- ② 町民が誇りに思い、移住者等に強い印象を与えるような「キャッチフレーズ」を作ること。
- ③ 現在実施している政策は、個々の内容が詳しく分かる冊子やチラシを作成すること。
- ④ 本町の強みを町内外にもっと積極的に情報発信し、民間活力を活かしたまちづくりに取り組むこと。
- ⑤ 町のホームページの内容や更新を充実させること。
- ⑥ 移住後も仕事、生活地域との協力体制など熱意をもってサポートすること。
- ⑦ 納税通知書を送る場合、空き家の所有者には空き家バンク登録への協力依頼文書を同封すること。
- ⑧ 地域おこし協力隊の活動や雇い方を改善すること。
- ⑨ 事業推進に当たっては、基金や過疎債等を効率的に活用すること。
- ⑩ 執行部も飯南町や邑南町を視察し、議会との意見交換を行うこと。



今回の視察は議員も大きな刺激を受けた

視察後の感想

小田議員 両町とも町長が旗振り役となつて組織作りが行われている。本町でも役場の体制づくりが必要ではないか。

市原議員 両町のインターン者に付きつきりで職探しや自立を支援するシステムは、本町でも取り入れていかないといけない。

高橋議員 邑南町は移住促進対策課を置き9人体制で取り組み、22年から25年度までに、定住者が96世帯150人増えていた。

西川議員 研修には行けなかったが、本町も他町に負けないものを持つていたので、もっとPRに力を入れてもらいたい。

岡林議員 町長が旗振り役になつて行政の縦割り組織に横串を刺し、真剣に取り組んでいた。

本町も今以上に横の連携を密にし、意識を共有して取り組み、移住してきた人の意見を発信していただきたい。

武智議員 両町には、新規就農や移住支援など政策実現の手法に知恵を絞っている。

財源には地域差があるが人の能力差はさほどないと思うので、今こそ議員力を発揮するべきだ。

山橋議員 両町とも人口減少対策等で首長に引張る力があり、職員も自信をもって政策提案している。本町の職員もこういうところで研修し、実行してもらいたい。

寺村議員 本町はすばらしいところや他町村に負けない立派なことがたくさんあるが宣伝力が弱い。PRに力を入れていただきたい。

片岡議員 越知町議会だよりが、全国議会広報10年連続表彰に入り、視察が相次いでいる。

視察に来られた議員は、本町の編集委員に1円の手当てもないことにあきれている。来年度は誠意を見せるべきと思う。

今回が5回目となる地区別懇談会を、2月12日に鎌井田老人里の家で開催し、住民8人(男6、女2)と全議員による意見交換を行いました。

議員の活動が見えない 情報を共有できるよう努力したい



人数は少なかったが住民からは積極的に意見がでた

質問 議員の活動が見えない。懇談会でも議員が取り組んでいることをテーマに話をしてもらいたい。

回答 本町は議会だよりしかないが、町民の皆さんと情報を共有できるように努力したい。

飲料水の確保

質問 飲料水の施設は3軒あったらやれるのか。

回答 明治地区では谷ノ内と榑ノ瀬がまだやっていないが、3戸以上あるので制度が使える。それ以下でもできるように検討している。

農業・林業

質問 衰退し仕事がない

質問 榑ツムラが越知へ工場を作る話は進んでいるか。

回答 ツムラは産地に近いところに第一次加工場を作りたいという考えで、町も用地探しに取り組んでいる。

消防団員確保

質問 団員が減っている

質問 消防団員が減っている。議会でも取り上げてもらいたい。

回答 若い人や町外への通勤者、役員職員などは活動が制約されるし、退団すると補充ができない分団もあるので話し合いはぜひやりたい。

質問 木材が動かない

質問 パルプが3千円くらいに下がり、木材が動かない。

回答 農業、林業を生かした雇用の場づくりや外貨の獲得のほか、仕事情報収集と発信を執行部に提言している。

ハイヤーチケット

質問 町外の会社は使えない

質問 ハイヤーは使いたい時間がないし、チケットは町外の会社は使えない。

回答 町外の会社は利用できるが、介護認定を受けていなければ利用できない。

閉校後はどうなる

質問 議会でも検討するか

質問 明治中は閉校後どうなるのか。議会でも検討するの。

回答 明治中と片岡小は公民館になる。

議会では、集落活動センターにしてはどうかなど提案しているが、地域の拠点として有効に使えるよう皆さんで話し合いを進めていただきたい。



閉校後の利用が課題となる(閉校式)

広域議会

定例会（3月2日）

第1回定例会が、3月2日に開かれ、諸般の報告の後、平成27年度一般会計予算、平成26年度一般会計補正予算、条例の一部改正5件など、13件を全会一致で可決しました。

●消防署

26年中の救急出動が1582件で、1日平均で4・3件となっている。脳疾患、心疾患の受け入れ病院がなく、高知市内への管外搬送が54%を占めている。

●救急無線デジタル化

新しいシステム導入により、ほぼ全ての119番通報に対して通報場所が瞬時に特定でき、時間短縮が図られる。

平成27年度予算

一般会計2億円超減額

消防救急デジタル無線整備の完了により、2億円超の減額予算となった。

条例の一部改正

火葬場の設置及び管理に関する条例

火葬場の使用料を、管外の場合は、5000円から1万円引き上げる。

広域組合議員に本町から3人が選出されていたが、片岡清則議員の死去に伴い岡林学副議長を選任しました。

一般質問

片岡智準 議員

(仁淀川町)

組合内の連携

問 3町それぞれが林業、農業に取り組んでいるが、今後、若者の移住定住が進めば研修生の増加が見込まれる。連携した取り組みはできないか。

野村安夫 議員

(仁淀川町)

火葬場

問 本年1月には利用率が高く大変だったが聞いたが、増改築の必要性はないか。

滝本清掃センター所長

26年度の一日の最高受入件数は9件だったが、平均は2・4件程度だ。建築から37年を経過しており、27年度に耐震診断をし、その結果により増改築を検討する。

諸般報告

●衛生センター

稼働から49年経過したため、本年6月末までの工期で改修工事を行っている。

●相談支援事業所

昨年10月から相談支援専門員を2人配置して業務を開始したが、2月末現在、16人の相談があった。



大きな効果が期待される（消防本部通信指令室）

| 会計名 | 予算額 | 前年度比 | |
|------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 10億4469万円 | △2億1802万円 | |
| 特別会計 | 特別養護老人ホーム | 12億3673万円 | △1060万円 |
| | 養護老人ホーム | 1億1120万円 | △435万円 |
| | 障害者支援施設 | 1億7518万円 | △480万円 |
| | ふるさと市町村圏 | 1627万円 | △1643万円 |
| 合計 | 25億8407万円 | △2億5420万円 | |

大石組合長

3町が連携して、効率的に取り組む。

今回は、町の移住支援相談員をしている足立さなえさんに役場の会議室でインタビューしました。



越知が好き
足立 さなえさん
風 香さん
(3区)

お試し住宅にて

議会だよりでは、移住を希望されている人に役立つことを願い、110号から町外からの移住者（1・Uター）の取材記事を連載しております。

移住は2回目

住み慣れた神奈川県を離れ、沖繩の西表島に移住したが、島には高校がなく中学校卒業と共に親元を離れる子供のことを考え、遊びで何度か訪れていた大好きな高知へ移住を決めたそうです。

車でいくつかの地域を巡る中で越知の景色が気に入り、お試し住宅の完成に合わせて26年12月30日に引っ越して来られました。

移住経験が生かせる

秘境での生活経験や高知県内各地域での資料収集、県庁をはじめ役場の相談員の方々と直接話をする中で、見て感じたことを仕事に生かせたらいいなと思っていたところに、相談員のお話をもらって嬉しく思ったとのこと。

気になること

朝市が大好きで、旅先でもよく利用していましたが、越知には生産者の顔が見える金曜市や、おち駅があり嬉しく思いました。

おち駅は、規模や駐車場が少ないなど気になるところはありますが、観光協会や多目的スペースを活かし、県内外の観光客と住民の交流の場になったらいいと話してくれました。

将来の夢

移住希望者には、いろんな目的があります。町内の先輩移住者や地元住民の方とお会いして情報を収集し、移住者の相談に乗りたいし、越知町を盛り上げるヒントを見つけたら、思いを語ってくれました。



職場での足立さん(企画課)

編集後記

議会だよりの移住者訪問も3回目となった。

1、2回目のご主人は本町出身だが、奥さんは県外出身の人で、習慣や行事に悩まされたこともあった。

こんな山の中へと思うが、空気がきれい、景色も良い、野菜作りも楽しいと話された。

今、全国の市町村は、人口減少対策に移住・定住を競争して取り組んでおり、本町も同様である。

移住者が見た町の良さや、問題点に対応した受け入れ態勢づくりが重要である。

議会の役割は大きく全員で頑張っていく。

《岡林》

| | |
|-----------|-------------|
| 編集・発行責任者 | 議長 齋藤 政広 |
| 議会広報常任委員会 | 委員長 武 智 龍 |
| | 副委員長 高 橋 文一 |
| | 委員 岡 林 学 |
| | 委員 市 原 静子 |
| | 委員 小 田 範博 |

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。